

中野市職員募集

種類	試験区分	受験資格 ※詳しい資格要件については、受験案内をご確認ください	
		生年月日	資格要件など
①	社会福祉士	昭和 58 年 4 月 2 日～ 平成 9 年 4 月 1 日	社会福祉士資格を有する者（採用予定日の前日までに当該資格を取得見込みの者）
②	歯科衛生士 （社会人経験者）	昭和 58 年 4 月 2 日～ 平成 6 年 4 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科衛生士資格を有する者 ・民間企業などで歯科衛生士の実務経験を3年以上有する者
	保育士 （社会人経験者）	昭和 52 年 4 月 2 日～ 昭和 60 年 4 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士資格を有する者（採用予定日の前日までに保育士登録する者） ・民間企業などで保育士の実務経験を5年以上有する者
③	一般事務	平成 9 年 4 月 2 日～ 平成 13 年 4 月 1 日	中野市に住民登録してある者（※）
	一般事務 （社会人経験者）	昭和 63 年 4 月 2 日～ 平成 9 年 4 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> ・中野市に住民登録してある者（※） ・民間企業などで社会人の実務経験を3年以上有する者
	一般事務 （障がい者）	昭和 49 年 4 月 2 日～ 平成 13 年 4 月 1 日	身体障害者手帳の交付を受け、その障がいの程度が1級から6級までの者で①、②の要件、両方に該当する者 ①自力により通勤ができ、かつ、介護者なしで職務遂行が可能であること ②受験案内の活字と同じ大きさの活字による印刷文の出題に対応が可能であること

種類 ①大学卒業程度 ②短大卒業程度 ③高校卒業程度

2019年度採用予定の市職員を募集します。受験を希望される人は、受験案内で受験資格などを確認の上、所定の試験申込書により申し込みをしてください。

なお、受験案内および試験申込書は、市公式ホームページからダウンロードいただけます。

※ 2018年5月1日現在、中野市に住民登録してあり市内に居住している者、または本人が進学・就職などにより現在は中野市を離れているが、以前に市内に居住していた者（中野市に住民登録のあった者）で、採用後に市内に居住することが確実な者。



▷市公式ホームページ
職員採用試験案内



中野市地域おこし協力隊がゆく!

信州ながの日和

File: 3



今年で32回目の斑尾ふるさと祭りです、初のブース出店! 頑張りましたー

今月の協力隊員 青木一弘 隊員
問 地域振興課 ☎ 38-3111



1



2



3

「斑尾ふるさと祭り」

僕たち地域おこし協力隊は、斑尾ふるさと祭り地元産リンゴジュースの飲み比べやリンゴジャム、ハチミツ、ドライフルーツの試食ができるブースを出店しました。試飲試食していただいた人たちから口々に「違うね〜」と感嘆の言葉を聞くたびに多くの食品を集めて良かったと思いました。

初めての大きなイベントで、見るもの全てが新鮮に映りました。ニジマスのつかみ取りは、来場された家族ごとにいろいろな光景があり、ほのぼのしました。餅つきは参加できませんでしたが、おいしいお餅をいただくことができました。

近隣ブースの皆さんとも親睦を深められる良い機会となりました。来年は、また新たなことを組み入れたいとアイデアを巡らせています。

- 1_ 協力隊員4人で試飲&試食ブースを出店
- 2_ 隊員の自己紹介パネルも作成しました
- 3_ 地元産のドライフルーツとハチミツも好評でした



池田市長の vol.54 わくわくレポート

地方創生と地域力

人口の大都市圏への集中を是正し、地方の元気を創出する中で、少子高齢社会を克服し豊かな暮らしを実現することに地方創生の主眼がある。その基本は「まち、ひと、仕事」とあるように、人の営みの確保と人の知と行動にあることは言をまたない。

〇〇活性化、〇〇のまちづくりなど将来に向けたさまざまな取り組みが繰り返し行われてきた。そこにあるのは理念型であり、方向性が示されているが、いつまでにどう実現していくかといった時間的かつ厳格な縛りはない。しかし5年、10年といった大枠でも達成時期や達成目標の設定は必要であろう。これからは、誰が(どのような人たちが)、何を、何時までに、どのように取り組むかといったことを極力明確にしていくことが大切であろう。こうした取り組みをすることで、より分かりやすくなり、情報共有も促進される。



◀豊田地域は、スモモの大石早生が長野県内生産量ナンバー1。これも地域力のなせる業

さて、地域を変えるのは、よそ者、若者、ばか者といわれるが、地域のこうした人たちを、私たちは上手に受け入れていかなければならない。地方は都市との交流人口を増やし、持てる地域資源をもって、域外にその存在を知らしめ、地域ブランドを確立する中で、地域力を最大限に発揮する活力あるまちを形成していかなければならない。

中野市では、この4月から4名の地域おこし協力隊員を迎え、それぞれの目標に向かって活動を開始した。協力隊員のみならず、市外から大勢の皆さんが中野市に興味関心を寄せ、来市している。知の融合により中野市を魅力ある都市として創造していくといった、環境は整っている。地域を変え、地域が一つになって行動することこそ、まさに地域力があると思う。